



おおきに

ニュースレターVol. 17
2007.12 発行
スペシャルオリンピックス日本・京都
〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
京都YMCA内<3F>
TEL 075-211-1574 FAX 075-211-1590
HP <http://www.son-kyoto.com>
E-mail miyake3-2@nifty.com

"Let me win but if I cannot win Let me be brave In the attempt"

「私に勝たせてください。もし勝てないとしても頑張る勇気を持たせてください」

2007年SO夏季世界大会・上海



日本選手団水泳コーチ森田隆信

まず最初に日本選手団の世界大会参加に応援、そしてご協力頂いた全ての人々に御礼申し上げます。私達参加しましたアスリート、コーチは色々な貴重な経験を、多くの感動を体いっぱいにて頂いて帰って来ました。「本当にありがとうございます。」

今回の大会では開催国中国でいわゆる「熱烈歓迎」を受けました。市民レベルの対応というよりは公的な色彩の強い感がありました。そこからスペシャルオリンピックス(SO)の活動が中国においても広がれば良いと思います。

とりわけ、今大会で良かったのはアスリートにマンツーマンでボランティアが付いてくれた事です。最初にホストタウンプログラムで訪れた西安では、日本語学科の学生さんが中心で言葉によるコミュニケーションもあまり問題無く、歓迎イベントや観光にと絶えず隣りに寄り添って、アスリート達も十分に楽しんだようでした。上海においても同じくボランティアの学生さんが付いてくれ、ホテルの出発から競技会場(ロッカールーム、からトイレまで)全てにおいてサポートして頂きました。競技の空き時間などでは上海市内の観光や買い物にも絶えず一緒に行動しました。中国の学生さんと言っても、日本となんら変わりなく今風のファッションの若者で携帯電話、ゲームなどを手にしてましたが実に良くサポートしてくれ、私達コーチは大変助かりました。コミュニケーションは同じく学生ボランティアの通訳に頼らなくてはなりませんでした。最終日にはアスリート達としっかり握手をして涙と笑顔で別れを惜しましました。

今回の大会に参加して頂いたボランティアのみなさんがどれだけSOを理解して頂いてるかは計り知れませんが、きっと何かを感じ取ってくれたものと信じています。ボランティアのみなさん「謝謝」、アスリートのみんな「ありがとう」。



スペシャルオリンピックス夏季世界大会を終えて

城 裕幸

私はバレーボールのヘッドコーチとして今回のワールドゲームに出場しました。8万人満員のスタジアムで行われた盛大な開会式、世界各国のアスリート、コーチとの交流、ホスト国である中国の方々のやさしさ、そして何より我が日本チームのアスリート一人ひとりのがんばり、本当に毎日が感動の連続でした。

バレーボールチームは大分と京都のアスリート、コーチで構成されているチームでした。これまでナショナルゲームや競技会であいさつを交わす程度であったアスリートたちでしたが、2回の合宿やワールドゲーム当日までの中国での生活であったという間にチームワークを深めていきました。そしてワールドゲームではアメリカ、ジャマイカ、インド、ギリシャ、中国、タイペイという国と対戦。明らかに体格で劣る我が日本チームでしたが、アスリート12人が力を合わせて最後まで全力でがんばることができました。勝って笑い、負けても笑い、本当に『スペシャル』な12人のアスリートたちでした。そんなアスリートたちと過ごした中国での日々は私の宝物です。ありがとうございます！！



そして、今回のワールドゲームを支えていただいた、応援していただいた全ての人に感謝いたします。本当にありがとうございました！！ さて、競技の方ですが、中学校時代に練習したことがあるアルペンスキーを選びました。ちゃんと青い旗と赤い旗の間を滑ることができるかとひやひやした思いでゴール前近くで応援していました。予選2本と決勝1本無事転倒することなく滑りきりました。そんな息子の姿をみて少し大きくなったような気がしましたが、これも親ばかでしょうか。

競技後の表彰台でのアスリート達の表情はとても生き生きしており、見ているこちらが勇気と希望を頂いた思いです。

スペシャルオリンピックスの「ナンバーワンではなくオンリーワン」を目指す考え方には感銘しました。どのアスリートにも樹氷のように光り輝く魂が宿っており、この世にとってかけがえのない存在です。

この大会を成功に導いてくださった大会関係者、コーチの方々、ボランティア、そして何よりもアスリートの皆さんに感謝致します。本当にありがとうございました。



スペシャルオリンピックス世界大会にはバレーボールのファミリーとして上海まで応援に行きました。

10月2日の開会式は胡錦濤国家主席出席のもと、想像を絶する規模で開催され、改めて中国の底力を見せつけられたように感じました。そして8万人の観衆の中、チームジャパンが入場した時は鳥肌がたつほど興奮し、ましてその中に自分の子供がいると思うと感動で胸が熱くなりました。

バレーボールの試合は事前の情報が少なく、初日会場へ辿り着くのに一苦労。試合も急遽時間に変更になって一試合見られなかったり、トラブルもありましたが、アスリートは事前の二度の合宿でチームワークもばっちり、真剣な中にも世界大会を楽しんでいるように感じました。日本チームはもちろんですがどの国のアスリートもみな可愛く見え、これがスペシャルオリンピックスのいいところだと思いました。親子で多くの感動と楽しい思い出を作ることが出来ました。関係者の皆様ありがとうございました。

安田ファミリー

上海空港にはS0のコーナーがあり、また市内までの道路にはたくさんのS0の幟が立てられており、「頑張っているね」などと話しておりました。

開会式は夕方よりはじまり、ホテルへは真夜中に帰着。8万人スタジアムの観客席は満員。集団太鼓・演舞、何十発もの花火、著名人の出席や挨拶そして胡錦濤国家主席の開会宣言。「頑張っているね」どころではなく、中国の大変な力の入れ方が分かり、またS0の大きさが伝わってきました。結構お国を応援する観客が多く、また、私たちも日本の選手団が入場してくると興奮状態になり、大変嬉しく感じたものです、このような貴重な経験をさせて頂いて、親も子も感謝しております。

ファミリー 伊藤信子

上海スタジアムで行われた開会式はすごく素晴らしい演技を見せてくれました。ジャッキーチェンやアーノルドシュワルツネッガー、チャン・ツイーなど有名な人たちが参加していました。私達も日本チームで行進しました。スタジアムでは沢山の人が私達を迎えてくれました。

3日から毎日バレーボールの試合が始まりました。中国やインド、アメリカ、ジャマイカと試合をしました。何処の国も強くて私達は苦戦しました。それでもアメリカに勝つことが出来ました。それで私達日本チームは4位でした。それから上海夜景観光はネオンがとてもきれいで素晴らしい夜景でした。

夕方から夜にかけて閉会式がありました。閉会式は日本チームも参加して、Tシャツ交換や打ち上げ花火や華やかな演技を見せてくれました。

四泊五日の西安も楽しい日々を過ごしました。上海では11日間過ごす事が出来ました。

中国に初めて行ってとてもいい経験をするうことが出来ました。ありがとうございました。

アスリート 浮田礼子



ボウリング大会

今年のお楽しみ会は、10月28日にラウンドワン（京都河原町店）でボウリング大会をしました。30人を超えるアスリートと多くのファミリー、ボランティアが参加してくれました。アスリート委員長の臼田君の開会の挨拶、バスケットボールプログラムのボランティアの稲井さんの始球式で始まり、2ゲームを投げた結果で表彰式をしました。

1、2、3位のボウリングプログラムのアスリートの成績はさすがでしたが、5位ごとに（5位、10位…）飛び賞を設けて、みんなで楽しむことができたのではないかと思います。

小嶋 志穂



インタビュー アスリートに訊く！

アメリカの人達としゃべったりバッジ交換をした。バスツアーで観光したのが楽しかった。

次の大会もまた行きたいです。(伊藤泰三君)

初めて上海に行きました。西安と上海に行って楽しかった。花火が凄かったのと波の形をしたマスゲームが面白かった。食べるものも美味しくてまた行きたいです。(安田兄弟)

いろいろな国の人達と試合をしてすごく楽しかった。中国のアスリートの人に自分の名刺を配りました。たくさん名刺をもらってきたし、バッジ交換もしました。アメリカには勝ったけれど4位でリボンをもらいました。次の大会に向けてまた頑張ります。(浮田礼子さん)



■お知らせ & 事務局ニュース

” Believe ” 上映会のご案内

2005年2月。世界中のメディアが長野に集まった。そこに9人のBelieveクルーの姿もあった。知的発達障がいのある人たちを撮影したドキュメンタリーはこれまでも数々あった。でも、彼ら自身が、カメラを扱い、マイクを片手にインタビューをし、記録するとしたら？ 信じられないかもしれない。しかし、9人のBelieve撮影クルーは、それをやり遂げた。知的発達障がいのある人たちのスポーツの祭典が長野で開催された2005年2月。彼らは自分の目で世界を見て、自分の言葉で世界を伝えた。本作は、彼らがそこにいたるまでの道のりを記録し、彼ら自身が撮影した記録映像とともに、ひとつの映画となって誕生した。

日時：2008年2月9日(土) 13:00～

場所：キャンパスプラザ京都

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る

キャンパスプラザ京都

(JR京都駅ビル駐車場西側)

TEL. (075) 353-9111

FAX. (075) 353-9121

* お問い合わせはSON京都事務局までお願いいたします。

【お知らせ】

SON京都事務局の部屋移転しました。

京都YMCA 3階から4階へ移転いたしましたのでお間違いないようお願いいたします。

電話番号等は従来通りです。

【スポーツプログラム】

2008年度前期のスポーツプログラムの参加申込書を郵送いたしました。早めのお申し込みをお願いいたします。

